

自分^{自分}を、そして
同乗者^{同乗者}を守るために…

車に乗ったら

シートベルト
全ての座席で
締めましょう



特に、「後ろの席は安全だから、シートベルトはしなくても大丈夫。」
という話を信じてはいませんか?…実はそれ、「とても危険な考え」です!

シートベルトを
締めていないと…
こんなに

危険!!

運 転席や助手席に
座っている人に激突する

事故の衝撃で座席から投げ
出され、車内の突起物に激突
したり、同乗者同士が激突す
ることにより、大きなケガを
負う危険性があります。



車 外に放出される
危険性が高い

座席から投げ出されるだけ
でなく、車外に放出され、対
向車両や後続車両などに巻
き込まれることにもつなが
ります。



死 に至る可能性が
極めて高い

事故の衝撃は、どの座席でも
同じです。後ろの席が安全な
訳ではありません。シートベ
ルトをしていないと、死に至
る可能性が極めて高くなり
ます。



安全の第一歩は、
シートベルトの
正しい着用から!

① 肩ベルトは首に
かからないように

④ 深く座って、腰ベルトが
骨盤を巻くように

② 肩ベルトは鎖骨から
胸骨を通るように

③ ベルトのたるみや
ねじれがないように

⑤ バックルは「カチッ」と
音がするまで確実に



大切なお子様のために!

こどもの成長に合わせた

チャイルドシート

を使いましょう



でも…

近くの買物やこどもの送迎だけだから、事故は起きないでしょ?

事故はいつ起きるかわからない

絶対に事故を起こさないと言い切れますか? 事故は予期せぬときに起きるものです。あなたに過失がなくても、後ろや横からぶつけられるかもしれません。



でも…

大人用のシートベルトでも大丈夫じゃない?

シートベルトだけでは危険

いいえ。大人用のシートベルトでは、衝突時にすり抜けたり、ベルトが首にかかったりして、窒息や首の骨折などの怪我をする危険性があります。



でも…

孫が嫌がるんですよ。抱っこしていれば大丈夫でしょ?

抱っこでは支えきれない

時速40kmで衝突した場合、10kgのこども(1歳から1歳半程度)の体重は**瞬間的に約30倍**の約300kgにもなり、大人の腕ではとても支えられません。



もしもの事故で、こどもの命を守ってくれるのは **チャイルドシート** です!

チャイルドシートは、国の安全基準に適合し、お子様の体格(体重)に合ったものを使用しましょう。また、お子様の成長に合わせて取付方向の変更、ベルトの調整が必要です。取扱説明書に従って正しく取り付けましょう。

体の小さなこどもは6歳以上であってもジュニアシート等を活用しましょう!

乳児用



幼児用



学童用



こどもの体格に合わせてチャイルドシートを選びましょう!

チャイルドシートの適正な使用がこどもの命を守ります!